

## 日米回線、135Mbpsへ増強完了

---

1997年5月12日

IIJの保有する日米間の国際バックボーン回線が5月10日、90Mbpsから135Mbpsへ増強完了致しました。

今回新設される回線は、既に接続されているMAE-WEST、NY-NAPと同様に、米国のインターネット相互接続拠点のひとつであるDIX (Digital Internet Exchange)に接続いたします。

インターネットの中心地である米国の複数の相互接続拠点で、自らのポリシーに沿ってトラフィックの交換先を指定する責任能力を持つプロバイダは、日本を含めたアジア太平洋地域ではIIJだけです。今やIIJの保有する対米回線は、日本のみならず、アジア太平洋地域の激増するインターネット・トラフィックを支えるバックボーンとしての役割を担っています。

またIIJは関連会社のアジア・インターネット・ホールディング (AIH 本社: 東京千代田区、代表取締役社長: 鈴木幸一) が運営するアジアのバックボーン「A-Bone」と100Mbpsで接続しており、世界的に見ても最大規模、かつアジアを中心とする特色ある国際バックボーンを有します。関連企業による周辺サービスとあわせ、今後のインターネットの拡大に対応いたします。

---